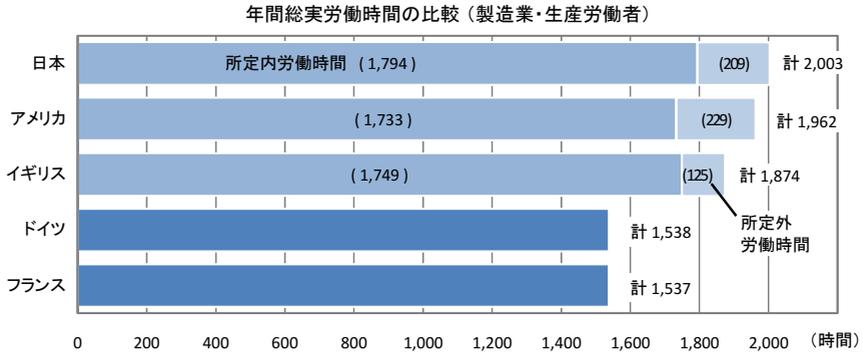
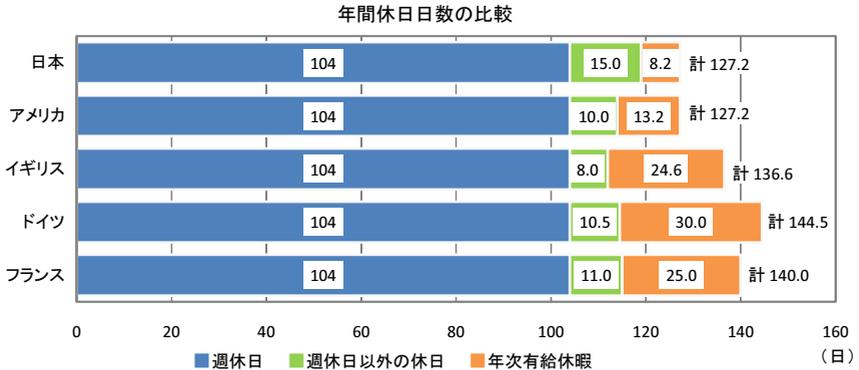


6-1 生産労働者の年間総実労働時間（製造業、2006年）及び年間休日日数



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第6-1表 生産労働者の年間総実労働時間(製造業、推計値)」(p.197)を参照。



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第6-4表 年間休日日数」(p.200)を参照。

(注) アメリカは2006年, その他の国は2007年の数値。

2006年の日本の年間総実労働時間は2,003時間で、アメリカ（1,962時間）より約40時間、イギリス(1,874時間)より約130時間長く、ドイツ(1,538時間)、フランス(1,537時間)との比較でみると、その差は460時間を超えている。

日本とアメリカの年間休日日数はともに約127日と少なく、所定内労働時間は各々1,794時間、1,733時間と長い。イギリスの所定内労働時間は1,749時間で日本より約45時間短く、アメリカより長くなっているが、年間休日日数は日本、アメリカより約10日多い。他方、休日日数が最も多いのはドイツ(約145日)で、これにフランス（約140日）が続いている。

また、所定外労働時間については、最も長いのがアメリカ(229時間)で、次いで日本(209時間)、イギリス(125時間)の順となっている。